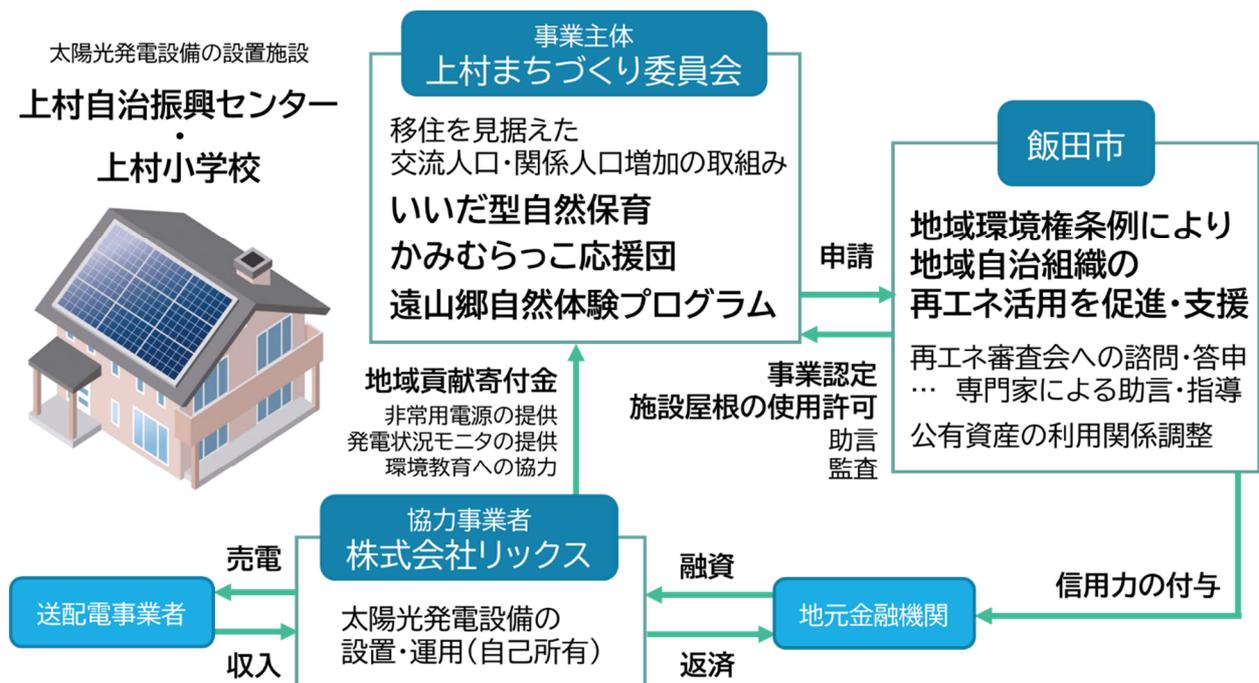


上村地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業の概要

1 事業概要

- | | |
|---------------|---|
| (1) 事業主体 | 飯田市上村 754 番地 2 / 上村まちづくり委員会 会長 前島 道広 |
| (2) 協力事業者 | 飯田市三日市場 1466 番地 1 / 株式会社リックス 代表取締役 熊谷 弘 |
| (3) 事業実施箇所・名称 | 飯田市上村 838 番地 / 飯田市立上村小学校
飯田市上村 754 番地 2 / 飯田市上村公民館 |
| (4) 再エネ設備概要 | 上村小学校 / 太陽光発電 / 設備容量 28.05kW / 年間見込量 30,855kWh/年
上村公民館 / 太陽光発電 / 設備容量 18.7kW / 年間見込量 20,570kWh/年 |
| (5) 事業実施期間 | 系統連系日から令和 22 年 (2040) 年 3 月まで |
| (6) 地域貢献寄附金 | 年間 120,000 円を 16 年間毎年まちづくり委員会へ寄附 |

2 事業スキーム



3 地域の合意形成と飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会の審査経過

- 令和元年～2年 上村地区第2次基本構想・基本計画の策定にあたり、課題抽出や重点事業を検討してきたが、小さな取組でも新しいことを始めるための予算確保及び解決策が課題との認識を確認。
- 令和元年7月 リックスよりまちづくり委員会に対し、条例を活用した発電事業についての提案を受け、発電事業の実現性について確認できる段階から本格的に検討を開始。
- 令和2年2月 まちづくり委員会定例会において、リックスより「結プロジェクト」事業

提案が改めて行われ、まちづくり委員会でリックスを本申出事業におけるパートナーとして位置づけを行い、本申出事業の詳細検討を進めていくことを決定。

- (4) 令和2年4月 まちづくり委員会総会において、本申出事業の概要及びそこから発生する公益再投資について検討を深め、その方向性をまちづくり委員会で決定。
- (5) 令和6年4月 まちづくり委員会定例会において、リックス提案に対して、上村小学校体育館及び上村公民館に設備を設置する計画と本年度中の着手、実行にむけた準備を進めることを確認。
- (6) 令和6年5月 まちづくり委員会定例会において、本事業申出書等の申請内容を承認。
- (7) 令和6年7月 まちづくり委員会及びリックスが飯田市に事業認定を申出。飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会は、審査の結果、認定すべき旨を答申。

4 地域貢献寄附金の用途

豊かな自然を生かして地区外からも評価してもらえるような地域づくりをし、移住を見据えた交流人口、関係人口の増加への取組として以下の事業を実施。

- (1) ア いいだ型自然保育推進のため整備した保育園の裏山フィールドの環境整備（草刈り、植栽）及びガイドの育成のための自然体験学習研修
イ 学校と地域が一体となって子どもを育てる「かみむらっこ応援団（上村コミュニティスクール）」推進と小規模特認校支援のための地域連携学習
- (2) 若者有志で結成された遠山郷しぜんと遊ぼう“どんぐり隊”を中心に取り組む、遠山郷自然体験プログラム構築と実践及び参加者と地域の交流拠点整備等の活動費

5 本事業の実施により想定される効果

- (1) 地域・学校・保護者が一体となって「かみむらっ子」の育成の推進や園児・児童（小規模特認校通学者含む）が増え、地域に活力を与えることが期待される。
- (2) 若い世代が中心となって、地域資源（施設、自然など）を活用して自らのスキルの向上とその技術を活用して地域内外の子ども達との交流を通じて、移住定住に繋がることを期待される。
- (3) 若者グループの活動や新たな地区内プレイヤーの発見とその支援が進み、多様な主体による地域活性化プロジェクトの推進が期待される。
- (4) 特色のある魅力的なまちづくりを進めることで、関係人口の増加や定住促進が進むとともに、地区の自治機能が高まることで、様々な世代が住みたいと思えるまちの形成とその担い手の育成の一助となることを期待される。